

1.	①	11.	④	21.	②	31.	③	41.	②
2.	②	12.	②	22.	①	32.	①	42.	④
3.	①	13.	③	23.	④	33.	④	43.	③
4.	④	14.	①	24.	③	34.	①	44.	④
5.	①	15.	③	25.	④	35.	④	45.	④
6.	④	16.	③	26.	③	36.	②	46.	④
7.	②	17.	④	27.	①	37.	③	47.	①
8.	④	18.	①	28.	④	38.	③	48.	②
9.	④	19.	①	29.	②	39.	②	49.	③
10.	①	20.	③	30.	③	40.	②	50.	③

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に沿って」です。前置詞「along」は、川や道のような長いものの隣を線状に動くことを意味します。例えば、「We walked along the river.」(私たちは川に沿って歩いた)。②「～を横切って」は across、③「～の周りに」は around、④「～なしで」は without です。

◆補足：come along という表現は「一緒に行く」を意味します。例：「We're going to the movies. Do you want to come along?」(映画に行くんだ。一緒に行く?)。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「novel」です。novel は、通常本として出版される、長い架空の物語です。例えば、「He is a famous novelist.」(彼は有名な小説家です)。①「poem」は詩、③「comic」は漫画、④「letter」は手紙です。

◆補足：小説を書く人は novelist です。novel は形容詞として「斬新な」という意味もありますが、これはより高度な意味です。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「A だけでなく B も」です。この構文は、二つの関連する情報を提示するために使われ、二つ目の情報(B)に重点が置かれます。例えば、「She is not only a great singer but also a wonderful actress.」(彼女は偉大な歌手であるだけでなく、素晴らしい女優でもある)。②は either A or B、③は both A and B、④は neither A nor B です。

◆補足：しばしば、特にカジュアルな会話では also が省略されることがあります：「not only A but B」。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「あらゆる所に、どこでも」です。「I looked everywhere for my keys.」(私は鍵をあらゆる所で探しました)のように使います。①「どこかへ」は somewhere、②「どこへも～ない」は nowhere、③「いつでも」は anytime です。

◆補足：every-という接頭辞は、everyone (みんな)、everything (すべてのこと)、every day (毎日) など、他の単語にも付きます。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「wide」です。「The river is very wide here.」(その川はここではとても川幅が広いです)。

②「wild」は野生の、③「white」は白い、④「while」は～の間という意味の接続詞です。

◆補足：wide の反対語は narrow (狭い) です。名詞形は width (幅) です。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④「戦争」です。「We all hope for a world without war.」(私たちは皆、戦争のない世界を望んでいます)。①「暖かい」は warm、②「着ている」は動詞の wear、③「単語」は word です。

◆補足：「第一次世界大戦」と「第二次世界大戦」は英語で「World War I」と「World War II」です。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②「英雄、主人公」です。①「ここに」は **here**、③「聞く」は動詞の **hear**、④「彼女の」は **her** です。

◆補足：ヒーローの女性版は **heroine**（ヒロイン）です。形容詞は **heroic**（英雄的な）です。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「選手、競技者」です。動詞の **play** から来ています。①は、「祈る」は動詞 **pray** からくる **prayer** で、非常に綴りや発音が似ていますので注意が必要です。

◆補足：**player** は、楽器を演奏する人（例：a piano player）や俳優を指すこともあります（ただし、**actor** がより一般的です）。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「**business**」です。個人の通常の職業や商売を意味することもあります。①「**building**」は建物、②「**basis**」は基礎、③「**busyness**」は忙しい状態、忙しさを意味します。

◆補足：**business trip** は出張です。**businessman** は実業家です。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「**point**」です。「Our team won by five points.」（私たちのチームは5点差で勝った）。②「**paint**」は絵の具、③「**part**」は部分、④「**pint**」は液量の単位です。

◆補足：**point** には他にも多くの意味があります。「鋭い先端」、「特定の時間や場所」、「意見やアイデア」など。動詞としては、「指し示す」を意味します。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④「**steal**」です。①「**steel**」は金属の一種、鋼鉄、②「**still**」はまだという意味の副詞、③「**seat**」は席です。

◆補足：過去形は stole、過去分詞形は stolen です。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「鋭い、よく切れる」です。他の選択肢は発音が似ていますが、意味は全く異なります。

◆補足：sharp は、「a sharp turn」（急カーブ）のように急な変化や、「a sharp mind」（鋭い頭脳）のように賢い人を表すのにも使われます。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③「弁護士」です。名詞の law（法律）から来ています。①「医者」は doctor、②「教師」は teacher、④「作家」は writer です。

◆補足：法廷では、lawyer、judge（裁判官）、prosecutor（検察官）がいます。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①「土地、陸」です。「land」は、特定の地面の領域を意味することもあります。例えば、「He bought a piece of land.」（彼は一区画の土地を買った）。動詞としては、「The plane is going to land soon.」（飛行機はもうすぐ着陸します）のように使います。②「手」は hand、③「貸す」は動詞の lend、④「小道」は lane です。

◆補足：動詞としての land は「着陸する」を意味します。これは take off（離陸する）の反対です。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「these days」です。nowadays の同義語です。例えば、「Many people have smartphones these days.」（近頃は多くの人がスマートフォンを持っています）。①「in those days」は過去のある時点（当時は）を指します。②「all day」は一日中、④「some day」は未来（いつか）を指します。

◆補足：these days（現在）と in those days（過去）の対比に注意してください。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③「親しみやすい、人懐っこい」です。「friendly」は、他人に対して приятный で親切な態度で振る舞う人を表す形容詞です。例えば、「The people in this town are very friendly.」（この町の人々はとても親しみやすいです）。これは名詞の②「友達」（friend）から来ています。①「自由な」は free、④「面白い」は funny や interesting です。

◆補足：friendly は“-ly”で終わりますが、副詞ではなく形容詞です。これは一般的な例外です。名詞形は friendship（友情）です。

17.

解答 ④

【解説】

正解は④「記者、リポーター」です。「reporter」は、ニュースイベントに関する情報を発見し、新聞、雑誌、ラジオ、テレビのためにそれらを記述するのが仕事の人です。動詞の report（報告する）から来ています。①「画家」は painter、②「港」は port、③「応援する人」は supporter です。

◆補足：news reporter は特にニュースを報じる人を指します。

18.

解答 ①

【解説】

正解は①「game」です。game は、ルールがあり、楽しみのために行う活動です。また、スポーツの試合一回分を意味することもあります。例えば、「Let's play a card game.」（カードゲームをしよう）や「Did you watch the baseball game last night?」（昨夜の野球の試合を見ましたか?）。②「fame」は名声、③「same」は同じ、④「name」は名前です。

◆補足：「テレビゲーム」は Video games で、人気の娯楽形態です。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①「quietly」です。この副詞は、あまり音を立てずに何かを表します。形容詞 quiet（静かな）の副詞形です。例えば、「He opened the door quietly.」（彼は静かにドアを開けた）。②「quickly」は速く、③「quite」はかなり、④「quality」は品質を意味する名詞です。

◆補足：副詞はしばしば動詞を修飾し、多くは（すべてではありませんが）「-ly」で終わることを覚えておいてください。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③「討論、話し合い」です。「discussion」は、決定を下すためや意見を交換するために何かについて話す過程です。例えば、「We had a long discussion about our future plans.」（私たちは将来の計画について長い話し合いをした）。①「決心」は decision、②「辞書」は dictionary、④「方向」は direction です。

◆補足：動詞形は discuss（討論する）です。これは他動詞なので、「discuss about the problem」ではなく「discuss the problem」と言います。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②「品目、項目、1つの品物」です。「item」は、リストやグループの中の一つのものを指します。例えば、「There are three items on my shopping list.」（私の買い物リストには3つの品目があります）。また、単一の物体を指すこともあります。①「考え」は idea、③「チーム」は team、④「アイドル」は idol です。

◆補足：ニュースレポートでは、「news item」（ニュース項目）という言葉を使うことがあります。店では、各製品が item です。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「謎、不思議なこと」です。「mystery」は、理解したり説明したりするのが難しい、または不可能な何かです。また、犯罪、通常は殺人事件に関するフィクションのジャンルでもあります。例えば、「I like reading mystery novels.」（私はミステリー小説を読むのが好きです）。②「歴史」は history、③「悲劇」は tragedy、④「惨めさ」は misery です。

◆補足：形容詞形は mysterious（謎めいた）です。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「be made of」です。この表現は、何かが作られている基本的な材料について話すときに使われ、その材料がまだ見える状態のときに使います。例えば、「This desk is made of wood.」（この机は木でできています）。①「be made from」は元の材料が何か別のものになったときに使われます（例：「Wine is made from grapes.」）。②「be made in」は製造地（例：「made in Japan」）、③「be made by」は製作者に使われます。

◆補足：これは、動詞 make（作る）からの受動態の構文です。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「(サイズなどが) 合う」です。動詞「fit」は、誰かや何かにとって正しい形やサイズであることを意味します。例えば、「This shirt fits me perfectly.」（このシャツは私にぴったり合います）。①「座る」は sit、②「満たす」は fill、④「見つける」は find です。

◆補足：形容詞として、fit は特にイギリス英語で「健康で丈夫な」という意味もあります。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④「部分、一部」です。「part」は、何かが構成されている一片を指します。例えば、「This is the most interesting part of the story.」（これが物語の最も面白い部分です）。①「公園」は park、②「港」は port、③「芸術」は art です。

◆補足：take part in ～という表現は「～に参加する」を意味し、join の類義語です。形容詞形は partial（部分的な）です。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③「妻」です。「wife」は、夫との関係において考えられる既婚女性を指します。例えば、「He loves his wife very much.」（彼は妻をとっても愛しています）。①「夫」は husband、②「娘」は daughter、④「生活」は life です。

◆補足：wife の複数形は wives です。「f」が「v」に変わり、「-es」が付きます。これは leaf → leaves と似ています。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「noisy」です。大きく不快な音を立てることを意味します。例えば、「The classroom was very noisy.」（その教室はとても騒がしかった）。②「busy」は忙しい、③「easy」は簡単な、④「lazy」は怠け者の、という意味です。

◆補足：名詞形は noise（騒音）です。noisy の反対語は quiet（静かな）です。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「遠い」です。「far」は、大きな距離について話すときに使われる形容詞または副詞です。

「How far...?」という質問は、ある場所までの距離を尋ねます。例文は「駅までどのくらいの距離がありますか?」という意味です。①「速い」は fast、②「農場」は farm、③「4」は four です。

◆補足：反対語は near（近い）です。比較級・最上級は farther/further と farthest/furthest です。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②「information」です。この単語は、ある主題に関する事実や詳細を指します。英語では information は数えられない名詞であることが重要で、そのため「an information」や「informations」とは言えません。数えるときは、「a piece of information」を使います。

◆補足：「案内所」は an information desk です。また、動詞形は inform（知らせる）です。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③「不可能な」です。「It is impossible to ~.」（～するのは不可能だ）という文の形でよく使われます。①「重要な」は important、②「人気のある」は popular、④「親切的な」は kind です。

◆補足：反対語は possible（可能な）です。接頭辞 im-は、しばしば単語を否定的な意味にします。例えば impolite（失礼な）。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「common」です。「よく起こる」または「多数見られる」（普通の、ありふれた）を意味することがあります。また、「二人以上の人々によって所有または共有される」（共通の）を意味することもあります。例えば、「Sato is a common family name in Japan.」（佐藤は日本でよくある苗字です）や「We have a common goal.」（私たちには共通の目標がある）。①は company、②は complete、④は complex です。

◆補足：反対語は uncommon や rare（珍しい）です。in common は「共通して」を意味する表現です。「We have a lot in common.」（私たちには共通点がたくさんある）。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「once」です。主な意味が二つあります。一つは「一度だけ」（一度、一回）。例えば、「I've been to Hawaii only once.」（ハワイには一度しか行ったことがありません）。もう一つは「過去のある時に」（かつて、昔）。例えば、「Once upon a time, there lived an old man...」（昔々、ある所におじいさんが住んでいました…）。②「one」は数字の 1、③「only」は～だけ、④「own」は自身の、という意味です。

◆補足：「二度」は twice です。三回以上は、数字+times（three times, four times...）を使います。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④「story」です。story は、実際または架空の一連の出来事を表す名詞です。例えば、「My grandfather told me an interesting story.」（祖父は私に面白い話をしてくれた）。①「history」は歴史、②「study」は勉強、③「store」は店です。

◆補足：short story は短編小説です。story という単語は、「a three-story building」（3 階建てのビル）のように、建物の階を意味することもあります。これは別の意味です。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「word」です。②「world」は世界、③「work」は仕事、④「letter」は文字（A, B, C など）です。

◆補足：password は、コンピュータシステムに入るために使わなければならない秘密の単語やフレーズです。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④「政府」です。例えば、「The Japanese government decided on a new policy.」（日本政府は新しい政策を決定した）のように使います。①「環境」は environment、②「運動」は movement、③「道具」は instrument です。

◆補足：動詞形は govern（統治する）です。政府関係者は government official と言えます。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「history」です。これは過去の出来事、特に人間に関することの研究です。また、一般的な学校の教科でもあります。例えば、「I like studying world history.」（私は世界史を勉強するのが好きです）。①「mystery」は謎やミステリー、③「story」は物語、④「victory」は勝利を意味します。

◆補足：形容詞形は historical（歴史的な）で、historical drama（時代劇）のように使われます。歴史を研究する人は historian（歴史家）です。

37.

解答 ③

【解説】

正解は③「戻る、～を返す」です。「return」は、場所に戻ることを意味する自動詞、または何かを返すことを意味する他動詞のどちらにもなります。例えば、「He returned to Japan last week.」（彼は先週日本に戻った）と「You must return this book to the library.」（あなたはこの本を図書館に返さなければなりません）。①「曲がる」は turn、②「頼る」は rely、④「要求する」は require です。

◆補足：名詞形も return（返却、帰り）です。「往復切符」は a return ticket です。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「true」です。「事実に基づいた」または「本物の」という意味です。例えば、「Is it true that you are moving?」（あなたが引っ越すというのは本当ですか?）。①「through」は～を通り抜けてという意味の前置詞、②「threw」は動詞 throw（投げる）の過去形、④「tree」は木です。発音に注意してください！

◆補足：反対語は false（偽りの）です。名詞形は truth（真実）です。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②「discover」です。特に初めて情報、場所、物を見つけることを意味します。例えば、「Columbus discovered America in 1492.」（コロンブスは 1492 年にアメリカを発見した）。①「discuss」は何かについて話すこと、③「discard」は捨てること、④「discount」は価格を下げることです。

◆補足：名詞形は discovery（発見）です。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②「in those days」です。この表現は過去のある期間について話すときに使われます。「その当時は」という意味です。例えば、「In those days, there were no smartphones.」（当時は、スマートフォンはありませんでした）。①「these days」は現在の時間、近頃はを指します。③「the other day」は最近の過去、先日を指します。④「in the future」は未来を指します。

◆補足：過去には those（あれらの）、現在には these（これらの）を使うこのパターンは一般的です。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「北の、北部の」です。この形容詞は north（北）から派生し、ある場所の北の部分にある、または北から来たものを表します。例えば、「Hokkaido is in the northern part of Japan.」（北海道は日本の北部にあります）。①「西の」は western、③「東の」は eastern、④「南の」は southern です。

◆補足：「オーロラ」は英語で Northern Lights として知られており、北方の地域で見られる美しい自然現象です。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「write to」です。この表現は、特定の人に手紙やメールを書くことを意味します。その人は前置詞 to の目的語になります。例えば、「I have to write to my grandmother.」（私は祖母に手紙を書かなければなりません）。①は～と話す、②は～を聞く、③は～に属する、です。

◆補足：write someone a letter という構文も同じ意味で使えます。「I wrote my grandmother a letter.」＝「I wrote a letter to my grandmother.」

43.

解答 ③

【解説】

正解は③「戦う、けんかする」です。「fight」は、物理的な打撃や武器の使用を伴う暴力的な闘争に参加すること、または口論することを意味します。例えば、「The soldiers fought bravely.」（兵士たちは勇敢に戦った）。①「見つける」は find、②「飛ぶ」は fly、④「忘れる」は forget です。

◆補足：過去形と過去分詞形はどちらも fought です。戦う人は fighter です。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④「the United States」です。これはアメリカ合衆国の一般的な名称です。しばしば the U.S. や the USA と略されます。例えば、「I want to visit the United States someday.」（いつかアメリカ合衆国を訪れたいです）。①「the United Kingdom」はイギリス、②と③は南米と中米大陸を指します。

◆補足：国について話すときは、the United States の前に the を付けるのが標準です。アメリカ出身の人は Americans と呼ばれます。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「次々と、相次いで」です。この表現は、物事が連続して、間にほとんど時間なく起こることを意味します。例えば、「The buses came one after another.」（バスが次から次へとやってきた）。①「一人ずつ」は one by one、②「お互いに」は each other、③「一つおきに」は every other one です。

◆補足：この表現は人にも物にも使えます。「The students came into the room one after another.」（生徒たちは次々と部屋に入ってきた）。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「go on a picnic」です。「Let's go on a picnic this weekend.」（今週末、ピクニックに行きましょう）。のように使います。①「go on a trip」は旅行に行く、②「go for a walk」は散歩に行く、③「have a party」はパーティーをする、です。

◆補足：go on a ... という構文は、go on a date（デートに行く）や go on a tour（ツアーに参加する）など、他の活動にも使われます。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①「すでに、もう」で、副詞です。通常、肯定文で使われます。例えば、「I have already finished my homework.」（私はすでに宿題を終えました）。②「まだ」は still（肯定文で）または yet（否定文で）、③「ちょうど」は just、④「いつも」は always です。

◆補足：already は現在完了形（have + p.p.）でよく使われますが、過去形でも使えます。例：「When I arrived, he was already there.」（私が着いたとき、彼はすでにそこにいた）。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「起源、由来」です。「origin」は、何かの始まりや原因です。例えば、「What is the origin of this festival?」（このお祭りの起源は何ですか？）。①「オレンジ」は orange、③「整理する」は動詞の organize、④「普通の」は形容詞の ordinary です。

◆補足：形容詞形は original（元の、独創的な）です。「This is the original design.」（これが元のデザインです）。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③「東の」です。この形容詞は **east**（東）から派生し、ある場所の東の部分にある、または東から来たものを表します。例えば、「**the eastern part of Hiroshima Prefecture.**」（広島県の東部）。①「西の」は **western**、②「南の」は **southern**、④「北の」は **northern** です。

◆補足：東アジアは英語でしばしば **Far East** と呼ばれます。

50.

解答 ③

【解説】

正解は③「**capital**」です。**capital**（または **capital city**）は、国や州の最も重要な都市で、政府が置かれている場所です。例えば、「**Tokyo is the capital of Japan.**」（東京は日本の首都です）。①「**castle**」は城、②「**captain**」はキャプテンや船長、④「**capsule**」はカプセルです。

◆補足：**capital** はビジネスでは「資本金」、書き言葉では「大文字」（**capital letter**）を意味することもあります。
